

特定外来生物セアカゴケグモ発見と対応について

平成27年 1月 8日
緑豊かな自然課

平成26年11月22日、三朝町において外来生物法で特定外来生物に指定されている「セアカゴケグモ」が発見されたのを受け、翌日より県では点検・駆除作業の範囲を広げ監視活動を行ってきました。クモ個体の生息環境としては厳しい降雪期を迎え12月時点で新たな個体の発見はありませんが、巡視・点検を引き続き行い、セアカゴケグモの生息が確認された場合、道路管理者など関係機関と連携の上、徹底駆除を実施していくこととします。

1 発見の状況

- (1) 発見日時：平成26年11月22日（土）午後2時30分頃
- (2) 発見場所：東伯郡三朝町大字山田地内駐車場入口（道路側溝付近に置かれたカラーコーンの内部）
- (3) 駆除状況：三朝町からセアカゴケグモ1個体を発見したと県へ報告、発見個体は、町が捕獲駆除済。
同日、県及び町で発見場所周辺を点検したが、新たな個体は確認されなかった。
- (4) その他：このクモによるけが人はいない。
※県内における確認事例は、平成25年9月6日（大山町）、平成26年9月16日（伯耆町）に次ぎ、今回で3例目。

2 現在の対応状況

- (1) 引き続き、巡視・点検を実施する。発見した場合は、殺虫剤等で駆除を行う。
- (2) 周辺施設及び県民からの情報収集を継続するとともに、セアカゴケグモの生息が確認された場合、関係機関と連携の上、徹底駆除を実施する。
- (3) 県ホームページに以下の事項を掲載して、引き続き、県民への情報提供及び注意喚起の徹底を図る。
(県HPアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/95703.htm>)

○有毒であるため咬みつき被害に注意が必要です。もし見つけた場合は、素手では触らないで、東部生活環境事務所、中部総合事務所、西部総合事務所、最寄の市町村役場、保健所等に御連絡ください。

○駆除には、市販の殺虫剤（ピレスロイド系）が有効です。

○万が一セアカゴケグモと思われるクモに咬まれてしまった場合は、医療機関へその旨を速やかに相談、受診してください。

《参考》セアカゴケグモとは

オーストラリア原産の小型のクモで、メスは毒をもっており、咬まれると痛むほか、重症化する場合があるが、死亡した例は報告されていない。日本に輸入される資材などに付着して国内に侵入したと考えられている。



■特徴

- ・メス（成体）：体長1cm前後で体色は黒く、つやがある。
- ・オス：体長5mm程度で体色は褐色、足の色は濃淡があり縞模様。

■すみか

- ・陽のよくあたる場所の地面近くの隙間やくぼみ
- ・道路側溝、プランター、エアコン室外機等の人工物の物陰、駐車場周辺